

酒特集

灘の酒は日本一

# 灘五郷いろいろ酒蔵ガイド



## 灘

五郷とは、神戸市から西宮市の海岸沿いに連なる酒造会社をまとめていい、日本一の酒どころとうたわれています。六甲山系に湧き出す宮本と良質の酒米・山田錦が出会い、六甲おろしの寒風にさらされ、丹波杜氏などのすぐれた職人集団の手によって「灘の生一本」が生み出されました。現在も、うまい酒づくりはもちろんのこと、さまざまな歴史を語り、文化を発信し続けている酒蔵。それぞれに魅力あふれる個性的な酒蔵をタイプ別に紹介。

あなたはどの酒蔵からめぐりますか？

昔ながらの「伝統」のお酒が味わえる泉勇之介商店  
お酒と一緒に「文化」を楽しめる神戸酒心館  
おいしいお酒とおいしい「料理」は櫻正宗記念館・櫻宴  
酒づくりの人の情熱を「体感」できる白鶴資料館  
今に残る貴重な「歴史」に触れられる沢の鶴資料館  
飲むだけじゃない「新しい」お酒の関寿庵

それでは

酒蔵めぐりに出掛けてみましょう。





# 泉勇之介商店

伝統の技を頑なに守る男たち

手間と時間をかけて作られるおいしいお酒を少量生産し、お客さまに満足してもらいたいと、機械に頼らず人の手で作られた美酒が、今もこの六甲の麓で生まれている。「泉勇之介商店」の木造蔵では、杜氏と6人の蔵人たちが、南部杜氏の伝統技術を受け継いで酒づくりに励んでいる。温度や環境のちよつとした変化

が、日本酒の味をがらりと変えてしまうため、作業は真剣そのもの。できあがった清酒「灘泉」は、深いコクとすっきりしたのどごし、軽やかでいて豊潤というぜいたくな味わいで、全国にファンを持つ。良酒と出会う幸せを感じさせてくれる酒蔵である。



「お酒は生き物と同じ」と高橋藤一杜氏(写真上)。温度や環境の管理は機械でもできるが、できるだけ手作業でお酒を作りたいという。全国でも珍しい木造蔵の前に立つ3代目泉勇之介社長(写真右下・右が泉杜社長)

**泉勇之介商店**  
 神戸市東灘区御影塚町1-2-7 TEL.078-851-2722  
 交通：阪神石屋川駅より南へ徒歩10分  
 時間：9時～17時（要予約）  
 入場料：無料 定休日：日・祝日 試飲：可



精米した米を洗うところから酒づくりは始まる。米はすぐにふやけるので水に漬ける時間も秒単位にまで気をを使う



寒空の下できびきびと働く蔵人たち

## ◆ごぼれ話◆

灘五郷のあるところ  
名水あり

灘五郷が日本一といわれるひとつの理由に、名水「宮水」の存在がある。西宮で発見された地下水であるためこの名前がついた。酵母菌の発育を促進するリンやカリウムを多く含み、鉄分が少ないなど醸造に最適な水。

宮水を使った酒は、味わいはさることながら、夏をこえて日がつたにつれてうまさが増え、夏をこえて日がつた



西宮にある「宮水井戸場修景」。近くに酒造り会社の「宮水」が集まる。昔、水を汲む道具として使っていた「はね釣瓶」も展示されている



# 神戸酒心館

蔵出しのお酒と文化が楽しめる

「神戸の地酒と灘の文化蔵・神戸酒心館」。福壽酒造の安福社長は酒づくりとともに文化事業にも熱心で、かねてから酒蔵のサロンコンサートや、お酒を通じて出会った落語家たちにお酒をテーマにした演目を上演してもらったりしていたとか。平成9年には、貯蔵蔵として使われていた建物をリニューアルして「酒心館ホール」がオープン。毎年の「春秋落語会」をはじめ、狂言や三味線、

お酒をとりまく文化も味わいたい



カントリー&ブルーグラスコンサートでは酒蔵に陽気なサウンドが響いた

酒心館ホールで行われた珍しい「寄席囃子」のコンサート

ジャズやクラシックのコンサートなど、さまざまな催しが開かれている。3月9日(土)にはロシア民族楽器バラライカのコンサートも予定されている(当日3500円・きき酒つき)。  
お酒や酒肴のショップも人気で、きき酒コーナーではしほりたてのお酒と酒肴(200円)5種がついた「大将セット」(500円)、ぜんざい(450円)などがある。レストラン「さかばやし」では、自家製豆腐を使った豆腐料理、手打ちそばなどが自慢のお酒とともにいただける。

**神戸酒心館**  
神戸市東灘区御影塚町1-8-17  
TEL.078-841-1121  
TEL.078-841-2612 (飲食店)  
交通：阪神石屋川駅より南へ徒歩8分  
時間：ショップ(10時~18時)  
レストラン「さかばやし」(11時~14時30分・ラストオーダー14時、17時~22時・ラストオーダー21時)  
定休日：なし 入場料：無料  
試飲：可



ホールは「豊明蔵」、ショップは「東明蔵」など、かつての酒蔵ならではの蔵の名前がついている(写真はきき酒コーナー)

も特徴。

かつて、「桜正宗」6代目当主・山邑太左衛門が、魚崎郷の水を使った酒と宮水の酒との味のちがいに気付き、わざわざ西宮から大量の水を運んで醸造を始めた。現在、宮水の発祥地は「宮水庭園」として保存されている。

## ジャンボタクシーで灘三郷の酒蔵をまわる

タクシーで灘三郷の名所、酒蔵をまわってみませんか？

東灘レインボータクシーが運営する、灘三郷(西郷、御影郷、魚崎郷)をまわるジャンボタクシーは、リフトつきなので車椅子でも楽に乗車できる。もちろん健康者だけでも利用でき、7人乗りで、安く、楽しく酒蔵と歴史路めぐりができる。

基本2時間コースは10880円、追加30分につき2720円。

●完全予約制

東灘レインボー

☎078-811-5222



# 櫻正宗記念館「櫻宴」

うまい酒とうまい料理が  
そろえば言うことなし

おいしい酒にはおいしい料理。櫻正宗記念館「櫻宴」2階の和風料理レストランでは、新鮮なかに料理と、それに合う厳選されたお酒が楽しめる。かにのお造り(1400円)、たらばステーキ(2250円)、かにみそ甲羅蒸し(750円)のほか、天ぷらやお造りなどかにつくし

の会席料理(3800円)、かにしゃぶ(2人、1人前5000円)なども。松花堂(2700円)や野菜畑(400円・昼200円)なども人気。お酒は、料理との相性も良い「上撰」(1合400円)、コクがあり本物指向の「金稀」(1合800円)、季節限定で搾りたての原酒も味わえる。

天正年間倉蔵、創業1771年の櫻正宗の歴史がよみがえる資料館では、昔の酒づくりの貴重なVTRや、珍しい酒造道具の展示も。うまい酒づくりへの、新旧のこだわりが感じられる記念館。



かにの天麩羅、お造り、かに酢、ちらし寿司などがついていたかにつくしの「梅の木会席」(4500円)。注文すると、蔵出しのお酒が注いでもらえる(写真下)



館内に入るとすぐに、酒づくりに重要な「水」と生命をテーマにした美しい清流がある

**櫻正宗記念館「櫻宴」**  
 神戸市東灘区魚崎南町4-3-18  
 TEL.078-436-3030  
 交通：阪神・六甲ライナー  
 魚崎駅南へ徒歩約5分  
 開館時間：10時～22時(カフェ10時～19時)  
 レストラン「櫻宴」  
 営業時間：11時30分～15時 17時～22時  
 (ラストオーダーは1時間前)  
 定休日：火曜

「灘の酒」は海に出て  
ますます有名に

灘五郷は海をのぞむ一体にあり、その立地条件を生かした海上輸送をすることにより、より遠くの地へより速く酒を運ぶことに成功した。陸地からの輸送は時間や費用、人手がかかっていた。100万人の人口をかかえる大消費地、江戸へ酒を運ぶことができたのは、早く、安く、大量輸送できる海上交通の発達が大きな原因になっている。

江戸時代のはじめは「菱垣廻船」が大坂と江戸の間を定期的に運航



沢の鶴資料館にある樽廻船の模型



# 白鶴酒造資料館

蔵人の情熱が  
ここによみがえる

酒蔵は、酒づくりとともに、そこで働く蔵人たちの歴史が息づく場所でもある。

白鶴酒造資料館は、昭和44年まで本店1号蔵として稼働していた酒蔵をそのまま資料館として公開。ぴんと張りつめた空気、黒褐色にくすんだ壁や支柱。そして、廻りや仕込みなど、昔の酒づくりの行程にしたがって、蔵人が作業する姿を人形

を使って再現している。今にも動き出しそうなリアルな人形たちは、私たちがその時代にタイムスリップさせてくれる。歴史に人あり、当時の蔵人たちの情熱までもが伝わってくるようだ。

しほりたての原酒が無料で試飲できるコーナーや、酒器などのグッズやここでしか買えない限定の酒などが並ぶショップも人気。



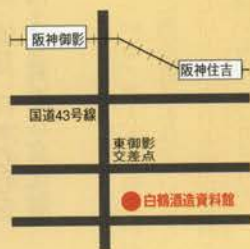
(写真下) 昭和初期の白鶴酒造酒づくりのようす。貯蔵庫には米俵が積まれている。このような資料をもとに、酒づくりに励む蔵人たちが人形によって再現されている

資料館限定の大吟醸  
「神戸生まれ」(900円)



## 白鶴酒造資料館

神戸市東灘区住吉南町4-5-5  
TEL.078-822-8907  
交通：JR住吉駅下車南へ徒歩約15分、  
阪神住吉駅下車南へ徒歩5分  
開館時間：9時30分～16時30分  
(入館は16時まで)  
定休日：月曜（休日の場合は翌日）、  
年末年始、お盆  
入場：無料



日本酒の樽詰めの様子が再現されたもの。積まれた樽に、日本酒ができた喜びがうかがえる

していたが、寛文年間（1661年～1672年）に酒を専門に輸送する「樽廻船（たるかいせん）」が登場。安定性のある優美な和帆船で船足が速く、荷も多く積めるのが特徴。

## 新しい「酒文化」が 続々登場「酒蔵通り」

酒造会社が集まる西宮市の「酒蔵通り」。大関の菓子店「関寿庵」や日本盛の「酒蔵通り煉瓦館」など、それぞれの自慢の酒文化を発信する楽しいショップが続々とオープンしている。

昨年11月にオープンした「白鷹緑水苑」。白鷹酒造の創業者である辰馬家に伝わる生活道具・家蔵品の展示は、戦前の造り酒屋のふだんの暮らしが見えてくる。女性に代々引き継がれてきた嫁入り道具や、美しい結納品など、商家の御寮人（ごりょうさん）の品も並んでいる。商売だけでなく、絵画や書、茶の湯などなど、文化的な教養も深かったという造り酒屋のだんなさんが集めた美術品も見もの。酒づくりに終わらなかつた酒蔵の生活文化を味わってみよう。



# 昔の酒蔵「沢の鶴資料館」

蔵・道具、日本の心を  
伝える貴重な文化財

ここに並ぶ桶や樽、甕かじなど、28  
84点に及ぶ酒造道具はすべて兵庫  
県重要有形民俗文化財の指定を受け  
ている。蔵は震災で全壊したものの、  
倒壊した古い木材を再利用して、3  
年以上の月日をかけて再建された。  
館内には、静かに「酒造り唄」が

流れ、かつての酒蔵の技や情熱が感  
じられるようだ。震災後に発掘され  
た地下の「槽場ふなば」跡は、全国でも珍  
しいもの。「槽場」は、もろみから  
酒をしぼり出す作業が行われる所  
で、地下で行うことにより作  
業をしやすくしたのではないかと

われている。蔵人たちの思いがしみ  
こんだ酒造道具を見ていると、一滴  
一滴しぼり出される酒がおさら味  
わい深いものになりそうだ。  
資料館のとなりには、沢の鶴自慢  
のお酒や、兵庫の名産などが並ぶミ  
ュージアムショップがある。



実際に使われていた酒造道具の数々。歴史の重みを感じられる



資料館の入り口に下がっているのは「志るしの杉玉」。新酒ができたことを知らせるもの。写真右は発見された「槽場」跡



**昔の酒蔵「沢の鶴資料館」**  
神戸市灘区大石南町1-29-1  
TEL.078-882-7788  
交通：阪神大石駅南へ 徒歩約8分  
開館時間：10時～16時  
休館日：水曜  
入場料：無料（10名以上要予約）  
<http://www.sawanotsuru.co.jp/>



はげしい地震の揺れにも耐えられる「免震システム」をほどこし、平成11年に復興オープンした「沢の鶴資料館」





# あまから せきじゅあん 甘辛の関寿庵

お菓子、化粧品：日本酒は飲むだけにあらず

清酒大関が手掛けている和菓子店「関寿庵」。吟醸酒を使用したおなじみの酒饅頭「酒寿」をはじめ、酒カステラや関寿餅など、日本酒の香りとほどよい甘さが絶妙。店内にはお休み処もあって、作りたての和菓子とお茶がいただける。

また、日本酒を使った化粧品も大人気。酒づくりにたずさわる蔵人たちの手が白くてきれいだったとか、日本酒のお肌への効果は昔から注目



銘菓「今津灯台」(写真上)、解凍すればいつでも作りたてが食べられる「冷凍和菓子」(写真下)はおすすめ!



酒蔵通りに昨年4月にオープンした「関寿庵」

**関寿庵**  
西宮市今津出在家町3-3  
TEL.0798-32-3039  
交通：阪神久寿川駅より南へ徒歩5分  
酒蔵通り沿い  
時間：10時～19時  
定休日：なし  
(関西国際空港エアロプラザ2階にもあります TEL.0724-56-8140)  
<http://www.ozeki-ic.co.jp/>

されている。大関の「純米酒」を使った化粧水やスキんクリーム、保湿成分が含まれる米ぬかを配合した米ぬか洗顔「ぶらんぱる」も。おいしく飲めて、おいしく食べて、美しくなる日本酒、そのパワーにびっく



純米酒を配合した化粧品シリーズ「灘」

## 清酒 大関

三百年の伝統が邂逅  
五彩の器に銘酒榊む  
修練の風雪をくぐり抜けて  
いま劇的な巡り合いを果たす  
大吟醸酒・大坂屋長兵衛  
北陸の名陶・九谷  
緑、黄、赤、紫、紺青の五彩の器  
いま創業者の叡智がいきづく  
音もなく降り積もる冬の使者  
そと一刻のしじまに酔う  
日本に生まれた至福

大吟醸酒

大坂屋 **長兵衛**



大関はISO14001認証を取得  
<http://www.ozeki.co.jp>



肴さえ忘れさせる、  
ひと口、ふた口。

未成年者の飲酒は法律で禁止されています。  
お酒はおいしく適量を。イッキ飲みは絶対やめましょう。



神戸のお嬢さん

# しなやかな感性と理知の瞳

山崎 慶子さん  
フルーティスト

慶子さんが神戸山手女子中学校、同高校音楽科で学んでおられた頃からの教え子です。一昨年に桐朋学園大学音楽学部を卒業され、現在は神

戸を中心に演奏活動が続けておられます。

彼女の魅力は、理知的な容貌と、恵まれた容姿ではないでしょうか。本人は「クラシック音楽の継承、特にフルートのような管楽器は、呼吸で音をつくるので、心身ともに健康を維持しパワーアップしなければ」とかの趣旨で、最近はゴルフにも取り生まれ、活発な一面も見せてくれ

ます。目標は大観衆の前で感動を伝えるリサイタルができればと大きいのですが、彼女ならきつと近い内にその夢を叶えられることでしょう。



推薦者  
矢野 正文  
神戸山手女子高等学校  
音楽科主任

山崎慶子さんの今後の演奏予定は、本誌P76のライブハウス「シニエール」でデトシロアンを主催





# のびやかに、心やさしく

当谷 幸子さん

早稲田大学教育学部2回生

有馬温泉「銀水荘別館兆楽」のお嬢さんです。母親の泰子さんと私は高校時代からの親友で、今でも家族ぐるみのおつきあいをしています。確か十年前に泰子さんが浴衣姿でこのコーナーに登場されたことも懐かしく思い出されます。

小さい頃は恥ずかしがりやだった幸子さんが、今では東京で一人暮らし。料理なら和・洋・中華なんでもござれの腕前？と、やりくり上手な堅実な生活ぶりに、周囲の評価も高いとか。大学では、サッカーサークルのマネージャーをしておられるそうで、幸子さんならではの細やかな心配りが想像されます。

趣味は音楽で、親和女子中・高校

時代には軽音楽部でギターを演奏、最近ではジャズも習い始められたそう、さすが元軽音楽部（私も）の母親との血は争えないものですね。



推薦者  
岸田 みちの  
岸田興産株式会社





神戸 **＊** 梅の名所と梅の和菓子

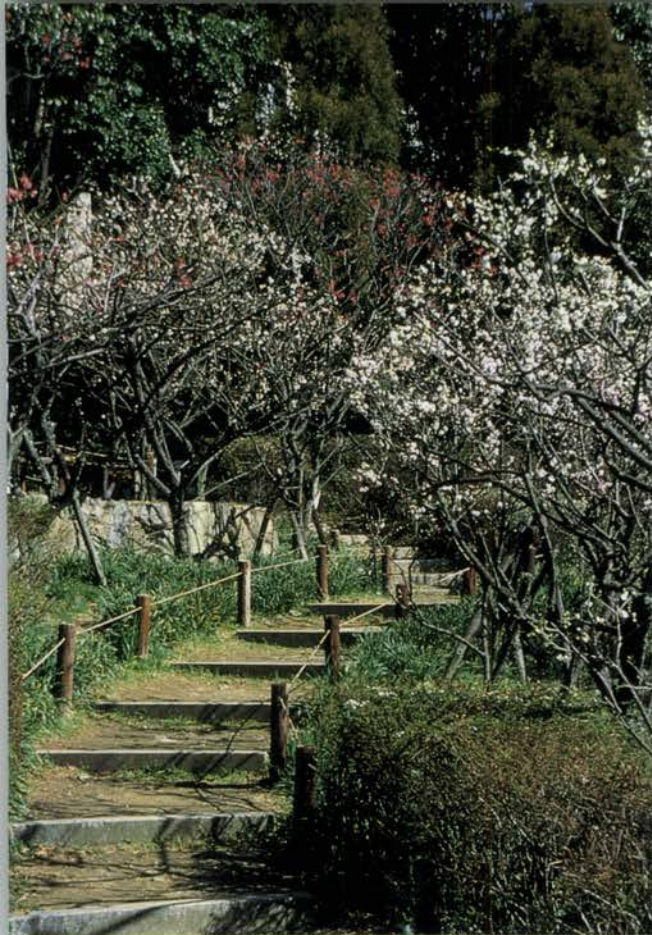
# 梅見月 梅花の香を訪ねて

## 岡本梅林公園

谷崎潤一郎も愛した岡本の梅  
江戸時代には「梅は岡本、桜は吉野」とも詠われ、全国に知られる梅の名所だった岡本の地。太閤秀吉や谷崎潤一郎も愛したという岡本の梅は、現在も東灘区の花として住民に親しまれている。往時をしのんで整

備された梅林公園は、閑静な高台にあり、しっとりとした気分で散策を楽しむことができる。園内には、1月中旬から花を咲かせるミチシルベから遅咲きのシダレウメまで27品種を揃えており、比較的長い期間梅見ができるのも魅力である。

3月3日(日)10時から「摂津岡本梅まつり」を開催。先着1000名に甘酒サービスなど。



池水やあずま屋もあり、梅散歩に最適の園内(梅林公園)



イノシシも梅の香に酔う? 山上からは生駒から淡路島まで見渡せる(保久良)

## 梅にウグイス 春の音を聞きに行く 保久良神社 (保久良梅林)

穏やかな春光にきらめく大阪湾を眺めながら、標高180メートルの山道を登っていくと、目指す保久良神社が現われる。「延喜式」にもその名が残る古社で、熊野からの帰路、航路を見失った日本武尊が神に祈る

美と味と技に魅せられて  
季語で綴る

白雪の上、  
艶やかに咲く——  
【寒紅】



切梅(紅梅)  
300円  
御菓子司 虎屋吉末  
078-851-2444

晴天に雪、  
静かに舞う——  
【風花】



梅ほころび  
2000円  
しょうじゅあん  
菓匠 叶 匠壽庵  
0120-465320





青空に美しく透ける白梅の花

梅の花越しに異人館を見下ろす  
**北野天満宮**  
 観光客で賑わう異人館の一角にある「北野の天神さん」。平清盛が「福原の都」を遷都するにあたり、学問の神さま・菅原道真公を祀る京都の北野天満宮になぞらえて建立したといわれ、北野町の町名はこの神社の由縁である。

と、この山にひとつのあかりが灯って無事に帰ることができたというわけがある。  
 社の西側の見晴らしのよい場所には、紅白およそ250本の梅が咲きそろう、ハイカーたちの格好の憩いの場となっている。周囲は市民の森に指定されているので、あたたかい日には森林浴をしたり、野鳥のさえずりに耳を澄ませるのもいい。

本殿から裏山にかけて広がる梅花園には、菅公ゆかりの飛び梅をはじめ、白梅がやや多いのが特徴だ。園内には、石畳や丹波石の石垣がしつらえてあり、頂上の展望テラスからは梅の花越しに異人館や神戸の街並みが一望できる。  
 3月31日(日)境内で「北野プラムプロッサウ フェスティバル」を開催。生花展や茶席のほか陶器市、出店など。

保久良神社の神火「灘の二ツ火」灯籠は神社の鳥居前にあり、ここからのダイナミックなパノラマも見逃せない。ふくよかな梅の香に包まれて、ゆつたりとした春の一日が過ごせそう。



所在地 神戸市東灘区岡本(梅林公園)／  
 本山町北畑(保久良)  
 アクセス 阪急岡本駅北西徒歩10分(梅林公園)／北東徒歩約40分(保久良)  
 本数 130本(梅林公園)／200本(保久良)  
 見頃 3月上旬頃(梅林公園)／2月下旬～3月中旬頃(保久良)  
 ☎078-371-8711 神戸市公園緑化協会



所在地 神戸市中央区北野町  
 アクセス シティーループバス「北野異人館」下車  
 本数 約150本  
 見頃 2月上旬～3月上旬頃  
 入場料 200円  
 ☎078-221-2139



梅越しに拝殿の屋根とエキゾチック神戸を眺む

【雪しろ】  
 流れ去る雪、  
 花は浮上する



梅の花  
 100円  
 神戸風月堂  
 078-321-5555

【薄氷】  
 微かな春、  
 薄氷に封じる



果心庵 梅  
 180円  
 本高砂屋  
 0120-078124



「開運」の梅で、学業成就を祝う

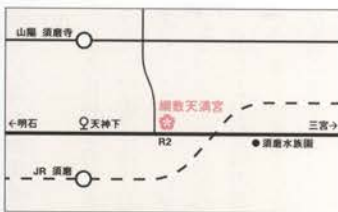
## 綱敷天満宮

梅を愛した学問の神さま・菅原道真公を祀る「須磨の天神さま」。菅公が太宰府に向かう途中、須磨の浦で風波が強くなり一時上陸したため、漁人らが網の綱を円座として休ませたという歴史があり、「綱敷」という名称になった。

境内には約30品種120本の梅が植えられている。冬の厳しい寒さに耐えて咲く「紅冬至」にはじまって、3月下旬に咲くという「開運」で締めくくる天神さまの梅模様は、まさに受験生にとっても心強い味方。境内には、「なす（成す）の腰掛け」などもあって、学業成就、開運招福などのご利益がある。



春の兆しを感じさせるほんのり薄紅色の風に、自ずと心は喜んでくる



所在地 神戸市須磨区天神町  
アクセス 山陽電鉄「須磨寺駅」徒歩約5分  
本数 30種120本  
見頃 梅花祭の頃  
☎078-734-0640

毎年2月24日・25日、菅公の命日

に行われる梅花祭の頃には境内の梅の花が満開になり、たくさんの方々が訪れる。昨年からはじまった梅がゆサービスは、天神さままで実った梅干入りで、一年間の開運がある。

★2月24日(日)・25日(月)「梅花祭」24日14:00から先着500人に梅がゆサービス、書道展ほか。梅花祭の前夜1週間からは、夜間ライトアップも開催。

## 明石海峡を望む山上の梅林 須磨浦山上遊園

山陽電車須磨浦公園駅からロープウェイで3分。海拔246メートルの鉢伏山から旗振山にまたがる大規模な山上遊園には、野鳥のさえずりが聞こえ、緑豊かな自然が残っている。ロープウェイからカーレーターに乗り換え、急斜面をゆつくりと登ると、山頂には回観展望閣があり、旗振山までは観光リフトが谷を渡る。眼下を眺めながらの空中散歩が楽しい。

梅林は旗振山の西斜面一帯に、紅梅・白梅合わせて約660本。早咲きの寒紅梅から、シダレウメ、麻耶紅梅まで4月中旬頃まで梅見が楽しめる。遠く明石海峡から淡路島まで一望でき、青い海と青い空を背景に紅白の梅が咲きほこる光景は爽快だ。

名残の雪下、  
気高く梅匂う  
【雪の果】



香雪  
270円  
御菓子司 常盤堂  
078-851-4677

春望む紅、  
密かに息吹く  
【草萌】



未開紅  
290円  
御菓子 二つ茶屋  
078-331-0756

咲き誇る梅、  
風は優しい  
【東風】



福梅  
250円  
彩葉工房 美吉堂  
078-801-0682

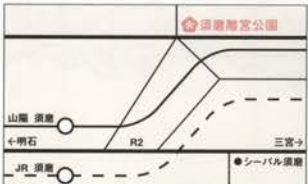




“春告花”の異名をもつ梅の花。季節の訪れを告げる



植物園内にある和室



**所在地** 神戸市須磨区東須磨浦  
**アクセス** JR・山陽電鉄「須磨駅」より市バス(71・72・75系統)「離宮公園前」下車すぐ  
**本数** 20種・約200本  
**見頃** 2月中旬～3月上旬  
**開園時間** 9:00～17:00 木曜休(梅見会期間中は無休)  
**入場料** 大人400円  
 ☎078-732-6688

**須磨離宮公園**  
 格調高く、香り高く咲く梅  
 かつては皇室の別荘・武庫離宮だった須磨離宮公園。もと離宮らしく格調高い雰囲気にも包まれている。公園の中心は華やかな噴水広場。広場には水をモチーフに、滝(カスケード)と芝生や花壇を配した水路(キヤナル)が流れる美しい欧風庭園が広がっている。他にもファミリーで楽しめるアスレチックコースなどがある。

どがあつて、思い思いの時間が過ごせる公園施設となつている。植物園内にある梅園には、鹿兒島紅梅、八重寒紅梅、大盃などの紅梅と白賀賀、月影、白灘波、鶯宿、初雁などの白梅、約20種200本が植えられていて自由に散策できる。2月16日(土)～3月3日(日)「梅見会」園内植物園(梅園及び和室・花の広場周辺)にて。甘酒先着500名、梅と早春の花をテーマにした創作庭園の展示など。2月17日(日)・24日(日)10時から先着200名で茶席(二席300円)が設けられる。



かぐわしい梅の香に誘われて



「開運」の梅。その華々しさはまるで桜と見まがえるほど



幼少の頃の管公は「月は輝いて雪景色のようで、梅の花は光る星のようだ」と詠ったというが、月夜に咲く梅はえいもいわれぬ美しさだ



**所在地** 神戸市須磨区一の谷町  
**アクセス** 山陽電鉄「須磨浦公園駅」よりロープウェイで「鉢鉢山上駅」下車  
**本数** 5種660本  
**見頃** 3月下旬頃  
**入園** 10:00～17:00 火曜定休  
**入場料** 無料(ロープウェイは片道350円)  
 ☎078-731-2520

【待春】

たけなわの梅、  
 そして次は桜へ――



花衣  
 850円(1俵)  
 神戸 はれるや  
 078-851-0533

【梅見】

誘い誘われ人、  
 梅を愛する――



ざろん梅  
 130円  
 藤江屋 分大  
 078-911-3635



摂津

# 岡本梅まつり



「岡本梅花見図」(「摂津名所図会」より)江戸時代の岡本梅林

摂津岡本梅まつり

とき 平成14年3月3日(日)  
10時—16時

ところ 岡本梅林公園(岡本6丁目)

- 甘酒・先着1000人分、うぐいす鮮先着600人分を無料サービス
- “はるかひまわり”の種を1000人にプレゼントします。
- 梅まつりの消印つき「梅メール」を出そう！(出張郵便局で切手・ハガキの販売)
- 梅の苗木販売

■お問い合わせ(午前中)  
岡本交友会・広岡 ☎078-453-2605

●摂津岡本梅まつり会場



寿司

## みず

神戸市東灘区西岡本2-7-3  
オーキッドコート右峯館1F  
(JR住吉駅東徒歩7分 国道2号線住吉川北)  
TEL.078-453-1877  
12:00~14:00 16:00~ 水曜定休

味・心・粋

nouvelle cuisine française  
**KYOBALKA**  
フランス権石料理 去来花  
〒656-0073 神戸市東灘区西岡本2-7-3 オーキッドコート1F  
TEL.078-431-8117 FAX.078-431-8118  
11:30~14:30(L.O.) ディナーバー 17:30~21:30(L.O.) 月曜休

nishizaki eye clinic  
入院・手術—随時  
**西崎眼科医院**  
阪急岡本駅南へ100M ☎078-431-0689

「タンスの中のルネッサンス」  
和服から洋服へ

**モードメイトミチコ**  
主宰 藤井美智子

神戸市東灘区本山北町 5-13-11

TEL 078-431-8051



---

# クラシックを楽しむ

---

## 期待の音楽家8人

春のコンサート・オペラ情報  
クラシックを聴きにいこう！

---





# 井原 秀人

バリトン歌手

1999年東京文化会館で開催された黛敏郎・オペラ「金閣寺」における主役溝口での衝撃的な名演により、全国的に脚光を浴びる。これを機に横須賀芸術劇場5周年記念公演「モーツァルト『魔笛』」、チョン・ミョンフン指揮〜アジア・フィル日本韓国公演でもソリストを務めるなど活動の領域を広げる。モーツァルト5大オペラから20世紀のオペラ作品までオペラ出演は数多い。一方でコンサート歌手としても活躍。これまでに「出光音楽賞」、村松賞大賞、兵庫県芸術奨励賞ほか。

「もう、オペラの魅力に取りつかれてしまってるんです」と笑う。オペラ歌手として、自身、大きな転機ともなった「金閣寺」の溝口役から2年を経て、長年憧れの役であった『ドン・ジョバンニ』原語公演の舞台（1/26ニュー・オペラシアター神戸定期公演）を数日後に控えた井原さんに会った。「夢の達成？」

い え、まだまだ。もっともつと自分の違った一面を発見させてくれる役に会いたい」。役と自分の共通点を見出し、役を自分に近付ける努力を惜しまない。舞台では、その日、その瞬間のエネルギを伝えたいと語る。寡黙な人、だが心は熱い。

6/8 関西歌劇団「エウゲニ・オネーギン」で主演。



# 尾崎比佐子

ソプラノ歌手

大阪音楽大学音楽部声楽科卒業。第16回飯塚新人音楽コンクール大賞を受賞。2001年11月には「ランメルモールのルチア」のタイトルロールを演唱し、高く評価され2001年度「音楽クリティック・クラブ賞」を受賞。コロラトゥーラからリリックまで幅広い様々な役柄を演じきる実力派。関西二期会会員、日本演奏連盟会員、神戸市混声合唱団団員。

歌唱力、演技力の面で注目を集めるブリマドンナは、明るく気さくな顔を見せる。クラシックに対する堅苦しさを無くしたいと、トークをまじえた気軽なコンサートのにも出演。「オペラは共演者やオーケストラと一体となるおもしろさがあるから魅か

れる。どんなときでも、お客様を含めた周りの人たちとのコミュニケーションを大切に歌っていきたい。そして幸せを感じてもらえれば。夢は「椿姫」のヴィオレッタ役を全曲演じること。それから「今年こそ幸せな結婚ができればいいな！」



# 松本 薫平

テノール歌手

東京芸術大学音楽部声楽科卒業後、伊・ミラノに留学。イタリア各地で多数の演奏会に出演。'96年帰国。'99年にオペラ「ラ・ボエーム」で関西二期会デビュー後は、イタリアオペラを中心に積極的に取り組み、第九等ソリストとしても活躍。イタリア声楽コンクールソテノール特賞、松方ホール音楽賞選考委員奨励賞、兵庫県芸術奨励賞ほか受賞歴多数。現在、武庫川女子大学講師。須磨区在住。

昨年末のファミリーでの演奏会も記憶に新しい。まさに音楽一家の中で育ち、音楽は生活の一部だった。小学生のときからチェロを、バンドでベースを弾いていた時期もある。水泳では全国大会にも出場したほどの運動神経の持ち主だ。それらの体験は、少なからず今の自分につながっていると言います。

オペラでは、99年に関西二期会公演「ラ・ボエーム」のロドルフォで関西二期会デビュー。「ランメルモールのルチア」のエドガルド役とともに大事にしていきたい役。いろんな舞台に挑戦し、自分の役といえる役に巡りあいたい」と意欲的だ。3/19オペラ「リゴレット」にマン・ドヴァア公爵役で出演(大阪国際会議場)



## 林 裕

チェリスト

東京芸術大学音楽部卒業。ドイツライプツィヒ音楽大学大学院に留学、首席修了後、A.タンスマン国際コンクールにてディプロマを取得した。青山音楽賞、ブルーメール音楽賞、松方音楽賞大賞を受賞。これまでに東京シティアフィル、東京交響楽団、セントラル愛知交響楽団など多彩な楽団と共演している。林良一、堀江泰、三木敬之、R.フランシヨなど各氏に師事

年を重ねることに、その演奏が高く評価されているチェリストが、今年新たな活動を開始。ピアニスト・佐藤美香、ヴァイオリニスト・大谷玲子、ウイオリスト・安藤裕子、そしてチェリスト・林裕、気鋭の若者たち4人が室内楽団「Opus 1 (オーパスワン)」を結成した。グループ名は作曲家が一番初めに手掛ける「作品1」という意

味。「現在のピアノ四重奏の形にとどまらず、ソロ、五重奏、六重奏、民族楽器との共演など、無限に広がる可能性を秘めています。同年代が集まっているので、それぞれに意見を交わしつつできるという気楽さもありますし」。デビューリサイタルは、2/5大阪・いずみホール、2/14東京・紀尾井ホールで開催。





# 鈴木華重子

ピアニスト



京都市立芸術大学卒。'96年渡米。インディアナ大学にてアーティスト・ディプロマ取得。宝塚ヘガ音楽コンクール入賞。アメリカにてASTAコンクール(弦楽器)の公式ピアニストを務める。帰国後は神戸・大阪・東京などで演奏。昨年日本演奏連盟主催の「ソロリサイタル」を開催。

4年間の留学生生活を終え、一昨年帰国。日本を代表するチェリスト堤剛や、フルート奏者エマニュエル・パユとの共演などチャンスに恵まれたが、本人は至って自然体だ。

演奏するときはいつも、作品に対して謙虚でありたいという。「モーツァルトがいて、ベートーヴェンがいて、ハイドンがいる。その歴史の上に、鈴木華重子がいるのだから」。

音楽は心、人生そのもの。その素晴らしさが伝わるような生き方がしたい、とその瞳を輝かせる。

# 谷本華子

バイオリニスト



桐朋学園大学音楽部ソリスト・ディプロマコースに入學し、ブランドン大学音楽部へ。日本・カナダでリサイタルを行い、サンクトペテルブルクシニフィールハーモニック国立ブルガリア室内オーケストラなどと共演「神戸ユース賞」、「音楽クリティッククラブ賞」などを受賞。

右手・左手・頭と心を存分に使ってひとつの音を出す。「身体に不自然なことをしてはダメ。演奏するときは、静かに、激しく、何秒おきに感情を変えるんですから。テクニク面を強調した演奏が増えてくる中、やはり音楽は人間の内部から、気持ちでうったえたいという思いを持っていきます」。クールに、さっぱりと言う。長岡京室内アンサンブルに所属し、4/19大阪国際フェスティバルで演奏予定。



## クラシックを楽しむ

期待の音楽家8人

現在彼女が夢中になっているのは200年前のクラシックハープ「ナードルマン」。日本には演奏可能なこの手の楽器はほとんどない。「1790年代、ハープは大変人気のある楽器だったそうです。サロンにしろハープにしろステイタスシンボルだったのでしよう。とにかく珍しい楽器なので、いろいろな人が、この時代やこの楽器に触れられる機会が提供できた」。クラシックハープとバロック楽器による本邦初のコンサートは2/14大阪倶楽部。



北村文  
ハープ奏者

桐朋学園大学および研究科卒業後関西に拠点を置き、各地で積極的な活動を展開中。神戸、横浜、大阪、フタベストなどで演奏し、師のヨセフ・モルナール、テレマン室内管弦楽団などとリサイタルを開くなど、精力的かつ多岐にわたる活動している。



高田泰治  
ピアニスト

大阪音楽大学音楽部楽器科ピアノ専攻卒業。在学中の99年には中塚昌昭、中村明子のデュオコンサート、上塚憲一や日本テレマン協会代表・延原武春のリサイタルなどで共演。2001年「蒼きMUSEの森 Kansai III」に出演、オペラハウス管弦楽団と共演した。

大阪音楽大学在学中から、日本テレマン協会の演奏活動に参加し、注目を集めていた。本人はただ「音が楽しくて楽しくて」と話す。現在も他の楽器と共演することが多い。

「アンサンブルは勉強になります。共演者がやりたいようにできるよう、自分の音をよく聴くことを大切にしています。声楽家の方との共演もしてみたい」。謙虚な彼に、喝を入れつつ活躍を誰よりも喜んでいる川岸勝子先生との「師弟コンサート」が12月に予定されている。